



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月9日

上場会社名 株式会社アクセル 上場取引所 東
コード番号 6730 URL <https://www.axell.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 昭宏
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理グループ (氏名) 田中 大輔 TEL 03-5298-1670
ゼネラルマネージャー
定時株主総会開催予定日 2024年6月20日 配当支払開始予定日 2024年6月21日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月21日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	17,570	21.4	2,426	50.3	2,449	35.1	1,771	30.9
2023年3月期	14,474	35.7	1,614	92.4	1,813	81.0	1,353	56.4

(注) 包括利益 2024年3月期 1,918百万円 (33.3%) 2023年3月期 1,438百万円 (75.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	162.38	161.49	14.6	16.6	13.8
2023年3月期	124.75	124.41	12.2	13.9	11.2

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	15,574	12,891	81.9	1,166.82
2023年3月期	13,883	11,695	83.5	1,064.72

(参考) 自己資本 2024年3月期 12,759百万円 2023年3月期 11,587百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	653	△811	△755	9,816
2023年3月期	1,885	135	△408	10,709

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	ー	0.00	ー	78.00	78.00	848	62.5	7.7
2024年3月期	ー	0.00	ー	81.00	81.00	885	49.9	7.3
2025年3月期(予想)	ー	0.00	ー	35.00	35.00		49.7	

(注) 2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 62円 記念配当 16円 (上場20周年記念配当)

2024年3月期における1株当たり期末配当金につきましては、72円から81円に変更しております。詳細につきましては、本日(2024年5月9日)公表いたしました「剰余金の配当(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,500	△29.6	600	△59.4	600	△59.3	420	△60.1	38.40
通期	13,300	△24.3	1,100	△54.7	1,100	△55.1	770	△56.5	70.41

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期	11,211,989株	2023年3月期	11,211,989株
----------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期	276,712株	2023年3月期	328,917株
----------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数

2024年3月期	10,910,838株	2023年3月期	10,853,009株
----------	-------------	----------	-------------

（参考）個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	17,189	22.5	2,272	67.1	2,293	47.2	1,568	30.4
2023年3月期	14,033	35.6	1,359	60.1	1,557	53.8	1,203	33.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	143.79	143.00
2023年3月期	110.87	110.57

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	14,512	12,501	85.9	1,140.44
2023年3月期	13,157	11,579	87.8	1,061.16

（参考）自己資本 2024年3月期 12,471百万円 2023年3月期 11,548百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,300	△30.4	580	△58.5	420	△58.8	38.40
通期	12,900	△25.0	1,030	△55.1	750	△52.2	68.58

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明動画の入手方法）

決算補足説明資料及び決算説明動画につきましては当社ウェブサイトへの掲載を予定しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し規制緩和が進んだことにより、社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復傾向を示しております。しかしながら、資源価格や原材料価格の高騰、さらには世界的な金融引締めに伴う景気の下押しリスクなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主力市場であるパチンコ・パチスロ機市場は、スマートスロット等の次世代遊技機の市場投入もあり底堅く推移した結果、当社の市場規模の目安となるパチンコ・パチスロ機の年間新台販売台数は、前期158万台に対して161万台程度だったものと推計しております。

かかる環境の中で当社グループは、パチンコ・パチスロ機市場での安定収益確保に向けた取り組み、組み込み機器市場（注1）に向けたグラフィックスLSIの販売拡大、さらにはAI、ブロックチェーン等の先進技術を活用した新規事業領域における早期事業化に向けた活動に注力いたしました。また、新規事業の展開を加速させる観点から、組織再編やアライアンス、出資の検討等を積極的に実施いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は前期比3,095百万円増（同21.4%増）となる17,570百万円、売上総利益は同1,051百万円増（同23.1%増）となる5,597百万円となりました。売上総利益率は製品ミックスの変動による影響等により0.5ポイント上昇となる31.9%となっております。

販売費及び一般管理費は業績連動賞与等に伴う人件費の増加に加え、新規事業領域での企業認知度向上を目的とした積極的な広告宣伝活動により、前期比239百万円増（同8.2%増）となる3,171百万円となりました。また、販売費及び一般管理費のうち研究開発費は同26百万円増（同1.7%増）となる1,579百万円となっております。

以上により、営業利益は前期比811百万円増（同50.3%増）となる2,426百万円、経常利益は前期比636百万円増（同35.1%増）となる2,449百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同417百万円増（同30.9%増）となる1,771百万円となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。また、下記セグメントのほか、各セグメントに配分していない全社費用が880百万円となっております。

①LSI開発販売関連

LSI開発販売関連は既存事業であるパチンコ・パチスロ機向け製品で構成されており、売上高は前期比3,085百万円増（同22.3%増）となる16,937百万円、セグメント利益は同903百万円増（同32.4%増）となる3,688百万円となりました。製品別では、主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIは、前期に比較して約12.9万個増加となる約64万個の販売となりました。また、新規販売ベースでのメモリモジュール（注2）製品は、前期を下回る販売数となりましたが、メモリ容量の大きい高単価製品の販売比率が増えたため、売上高は前期を上回りました。なお、当期末の同セグメントの受注残高は14,543百万円となっております。

②新規事業関連

新規事業関連は組み込み機器向けグラフィックスLSIに加え、AIやブロックチェーン等の先進技術を活用した新規事業領域に向けたスタートアップ事業であり、AI領域での売上高を中心に、売上高は前期比10百万円増（同1.6%増）となる632百万円、セグメント損失は同24百万円減（前期は405百万円の損失）となる381百万円となりました。

（注1）「組み込み機器市場」とは、パチンコ・パチスロ機以外の組み込み機器の製造に係る市場として使用しております。組み込み機器とはコンピュータが内部に組み込まれており、そのコンピュータに特定のアプリケーションに特化した処理を行わせる電子装置を意味しております。医療機器や自動販売機、生活家電など多種多岐にわたる機器が組み込み機器に該当いたします。

（注2）「メモリモジュール」とは、パチンコ・パチスロ機の画像表示用基板に搭載される画像データを保持しておく部分の仕組みを意味しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末との比較で1,690百万円増加となる15,574百万円（同12.2%増）となりました。主な要因は、商品及び製品の増加（1,694百万円）、有価証券の増加（300百万円）、投資有価証券の増加（832百万円）に対し、現金及び預金の減少（1,193百万円）、売掛金及び契約資産の減少（135百万円）等であります。

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末との比較で495百万円増加となる2,682百万円（同22.6%増）となりました。主な要因は、未払法人税等の増加（339百万円）等であります。

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末との比較で1,195百万円増加の12,891百万円（同10.2%増）となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（922百万円）等であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は9,816百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりとなっております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動により獲得した資金は653百万円（前期は1,885百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益（2,446百万円）、売上債権の減少（135百万円）、その他の流動負債の増加（256百万円）に対し、棚卸資産の増加（1,701百万円）、法人税等の支払額（415百万円）等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動により支出した資金は811百万円（前期は135百万円の獲得）となりました。これは主に投資事業組合からの分配による収入（71百万円）に対し、有形固定資産の取得による支出（108百万円）、投資有価証券の取得による支出（752百万円）等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動により支出した資金は755百万円（前期は408百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額（848百万円）等によるものであります。

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	88.0	90.1	86.0	83.5	81.9
時価ベースの 自己資本比率 (%)	63.9	95.6	93.9	140.4	136.8
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (%)	—	—	—	—	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ	—	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注3) 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

次期のパチンコ・パチスロ機市場は、スマートスロットの堅調な販売が見込まれる一方で、本年7月に予定されている新紙幣対応のため、パチンコホールは大規模な設備投資を余儀なくされ、新台への投資意欲が低下する可能性があるとして分析しております。このような市場見通しのもと、顧客ヒアリング等をはじめとする詳細な市場分析を実施した結果、次期におけるパチンコ・パチスロ機の年間販売台数は140万台（当期は161万台程度と推定）を前提として、業績予想算定の基礎といたしました。

主力製品であるパチンコ・パチスロ機市場向けグラフィックスLSIは、市場規模の想定に加え顧客ヒアリング等を基礎に、前期比約17万個減の47万個の販売計画といたしました。同市場向けのその他製品では、メモリモジュール製品が市場環境に加えリユース比率の上昇を見込み前期比減少、LEDドライバは採用顧客の需要動向により、前期を下回る販売計画といたしました。新規事業関連においては、主にAI領域における事業の伸長を見込み、前期を上回る販売計画といたしました。

以上の分析を踏まえ、次期の売上高は前期比4,270百万円減となる13,300百万円（同24.3%減）を計画いたしました。売上総利益は前期比1,547百万円減となる4,050百万円（同27.7%減）を見込んでおります。売上総利益率では前期比1.4ポイント悪化となる30.5%を見込んでおりますが、これは主に製品ミックスや為替の影響等によるものです。また、販売費及び一般管理費は、減益に伴う業績連動賞与の減少に加え、テレビCM等の積極的な広告投資を実施した前期に比較して広告宣伝費の減少を見込んでおり、前期比221百万円減となる2,950百万円（同7.0%減）を見込んでおります。

以上により、営業利益は前期比1,326百万円減となる1,100百万円（同54.7%減）、経常利益は同1,349百万円減となる1,100百万円（同55.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は同1,001百万円減となる770百万円（同56.5%減）の計画といたしました。

(注) 本資料に記載の将来に関する全ての記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、不確実性を多分に含んでおります。当社としてその実現をお約束するものではありません。実際の業績は、様々な要因から業績予測と異なる結果となる可能性がありますことをご留意ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

財務諸表は、会社法上の分配可能額の計算や法人税法上の課税所得の計算においても利用されることを鑑み、当社グループは会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,509	8,316
売掛金及び契約資産	1,243	1,107
有価証券	1,200	1,500
商品及び製品	736	2,431
仕掛品	0	7
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	108	225
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,798	13,588
固定資産		
有形固定資産		
建物	206	206
減価償却累計額	△136	△143
建物（純額）	69	62
工具、器具及び備品	662	737
減価償却累計額	△598	△625
工具、器具及び備品（純額）	64	111
有形固定資産合計	133	174
無形固定資産		
のれん	17	5
その他	25	33
無形固定資産合計	43	38
投資その他の資産		
投資有価証券	763	1,596
繰延税金資産	28	56
その他	116	119
投資その他の資産合計	908	1,772
固定資産合計	1,084	1,985
資産合計	13,883	15,574

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,372	1,387
未払法人税等	276	616
未払消費税等	111	8
その他	385	629
流動負債合計	2,145	2,641
固定負債		
資産除去債務	40	41
その他	1	—
固定負債合計	42	41
負債合計	2,187	2,682
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,028	1,028
資本剰余金	896	969
利益剰余金	9,698	10,621
自己株式	△258	△217
株主資本合計	11,364	12,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222	357
その他の包括利益累計額合計	222	357
新株予約権	30	30
非支配株主持分	77	101
純資産合計	11,695	12,891
負債純資産合計	13,883	15,574

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	14,474	17,570
売上原価	9,928	11,972
売上総利益	4,546	5,597
販売費及び一般管理費	2,931	3,171
営業利益	1,614	2,426
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	8	20
助成金収入	114	—
投資事業組合運用益	77	6
その他	2	5
営業外収益合計	202	33
営業外費用		
為替差損	3	9
その他	0	0
営業外費用合計	4	10
経常利益	1,813	2,449
特別利益		
会員権売却益	2	—
その他	0	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
減損損失	4	1
投資有価証券評価損	45	—
会員権評価損	5	—
子会社清算損	17	—
その他	1	1
特別損失合計	74	2
税金等調整前当期純利益	1,741	2,446
法人税、住民税及び事業税	327	749
法人税等調整額	31	△87
法人税等合計	359	662
当期純利益	1,381	1,784
非支配株主に帰属する当期純利益	28	12
親会社株主に帰属する当期純利益	1,353	1,771

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	1,381	1,784
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	134
その他の包括利益合計	56	134
包括利益	1,438	1,918
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,410	1,906
非支配株主に係る包括利益	28	12

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,028	882	8,777	△301	10,386
当期変動額					
剰余金の配当			△433		△433
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,353		1,353
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		13		43	57
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	13	920	42	977
当期末残高	1,028	896	9,698	△258	11,364

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	その他の包括利益累 計額合計			
当期首残高	166	166	27	49	10,629
当期変動額					
剰余金の配当					△433
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,353
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					57
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	56	56	3	28	88
当期変動額合計	56	56	3	28	1,066
当期末残高	222	222	30	77	11,695

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,028	896	9,698	△258	11,364
当期変動額					
剰余金の配当			△848		△848
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,771		1,771
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		26		41	67
連結子会社の増資による 持分の増減		46			46
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	73	922	41	1,037
当期末残高	1,028	969	10,621	△217	12,401

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	その他の包括利益累 計額合計			
当期首残高	222	222	30	77	11,695
当期変動額					
剰余金の配当					△848
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,771
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					67
連結子会社の増資による 持分の増減					46
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	134	134	△0	24	158
当期変動額合計	134	134	△0	24	1,195
当期末残高	357	357	30	101	12,891

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,741	2,446
減価償却費	42	73
のれん償却額	11	10
減損損失	4	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
株式報酬費用	35	34
受取利息及び受取配当金	△8	△21
投資有価証券評価損益 (△は益)	45	—
子会社清算損益 (△は益)	17	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	△77	△6
売上債権の増減額 (△は増加)	△203	135
棚卸資産の増減額 (△は増加)	34	△1,701
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△2	△36
仕入債務の増減額 (△は減少)	278	14
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	140	256
未払又は未収消費税等の増減額	2	△147
その他	8	△12
小計	2,071	1,047
利息及び配当金の受取額	8	21
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△194	△415
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,885	653
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△86	△108
無形固定資産の取得による支出	△3	△22
投資有価証券の取得による支出	△32	△752
投資事業組合からの分配による収入	217	71
会員権の取得による支出	△6	—
会員権の売却による収入	10	—
子会社の清算による収入	35	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	135	△811
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△432	△848
ストックオプションの行使による収入	24	32
非支配株主からの払込みによる収入	—	60
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△408	△755
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	19
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,612	△893
現金及び現金同等物の期首残高	9,097	10,709
現金及び現金同等物の期末残高	10,709	9,816

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、既存事業である「LSI開発販売関連」を主たる事業としておりますが、これに加えて今後の成長を担う「新規事業関連」を報告セグメントとして認識しております。「LSI開発販売関連」は、パチンコ・パチスロ機向け製品の開発販売、「新規事業関連」は、組み込み機器向け製品の開発販売、ミドルウェア、機械学習/AI、ブロックチェーン、セキュリティ領域における製品の開発販売及びソリューションの提供を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	LSI開発 販売関連	新規事業関連			
売上高					
外部顧客への売上高	13,852	622	14,474	—	14,474
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,852	622	14,474	—	14,474
セグメント利益又は損失(△)	2,785	△405	2,379	△765	1,614
その他の項目					
減価償却費	29	5	34	8	43
のれん償却額	—	11	11	—	11
減損損失	—	4	4	—	4

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△765百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 資産及び負債については事業セグメントに配分していないため記載しておりませんが、減価償却費については合理的な基準に基づき各セグメントに配分しております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	LSI開発 販売関連	新規事業関連			
売上高					
外部顧客への売上高	16,937	632	17,570	—	17,570
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—
計	16,937	632	17,570	—	17,570
セグメント利益又は損失（△）	3,688	△381	3,307	△880	2,426
その他の項目					
減価償却費	52	9	61	11	73
のれん償却額	—	10	10	—	10
減損損失	—	1	1	—	1

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△880百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般経費であります。
2. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. 資産及び負債については事業セグメントに配分していないため記載しておりませんが、減価償却費については合理的な基準に基づき各セグメントに配分しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,064.72円	1,166.82円
1株当たり当期純利益	124.75円	162.38円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	124.41円	161.49円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	11,695	12,891
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	108	131
(うち新株予約権(百万円))	(30)	(30)
(うち非支配株主持分(百万円))	(77)	(101)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	11,587	12,759
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	10,883,072	10,935,277

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,353	1,771
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,353	1,771
普通株式の期中平均株式数(株)	10,853,009	10,910,838
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	29,688	60,523
(うち新株予約権(株))	(29,688)	(60,523)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。